

Next is your turn!

平成 29 年度

今年はおあなたの番です!?

秋田県若手アーティスト 育成支援事業レポート

県内を拠点として活動する若手アーティストの活動支援を目的として、希望者にアトリオンを制作発表やパフォーマンスの場として解放しています。

平成 29 年度は 6 人のアーティストが展覧会を開催、11 人のアシスタント、サポーターがお手伝いいただきました。

さて、今年はおあなたの番です!?! みんなで新しい秋田のアートシーンを創りましょう。

アーティスト部門



1. 宮本一行個展 仮説の風景

会場・2F 美術展示ホール第 1A

9/15-9/18 311 人

ギャラリーツアーを開催。

秋田空港に作品を展示。

音楽コンクールのポスターに作品を採用。

2018 年 5 月に草薙裕と 2 人展を開催予定。

2. 長内祐子展 私のの中の灯火

会場・2F 美術展示ホール第 2

12/13-12/17 314 人

ギャラリートークを開催。

秋田公立美術大学大学院に進学。

3. 尾花賢一展 森の奥、そして

会場・2F 美術展示ホール第 1A

12/20-24 326 人

アーティストトークを開催。

今回の展示内容で東京での個展開催が決定。



4. 澤田弦吾展 迷彩心

会場・2F 美術展示ホール第 1A

2018/2/8-12 507 人

アーティストトークを開催。

5. 大関智子展 迹をのこす

会場・2F 美術展示ホール第 1A

2018/3/14-18 402 人

アーティストトークを開催。

秋田市立千秋美術館より企画展出展依頼。

6. 小山内穂絵展 室内から

会場・2F 美術展示ホール第 2

2018/3/21-25 378 人

ギャラリートークを開催。

今年度の支援内容 ※秋田県とディレクター・キュレーター部門、アートサポーター部門の参加者による

- ① 展示コンセプト、内容についての相談
- ② 広報資料（パンフレット、DM）などのデザインおよび印刷
- ③ 会場用キャプション、ラベルのデザインおよび制作
- ④ 展示構成の立案、相談
- ⑤ 展示撤収作業
- ⑥ 会期中の受付案内
- ⑦ 会場費の助成
- ⑧ 2017 年版総合カタログの制作

助成平均利用例

- ① アトリオン 2F 美術展示ホール第 1A の使用料 @14,200 円 × 5 日間 = 71,000 円 + マイク使用料 1,100 円
アトリオン 2F 美術展示ホール第 2 の使用料 @12,800 円 × 5 日間 = 64,000 円 + マイク使用料 1,100 円
- ② 会場配布用パンフレット印刷費 400 ~ 500 部 = 約 26,000 ~ 36,000 円

ディレクター・キュレーター部門

今年度の実務体験（登録6名）

- ①展示コンセプト、内容についてアーティストとの打ち合わせ
- ②広報資料、会場用キャプションのテキスト執筆
- ③展示作業の実際

※若手アーティスト支援事業だけでなく、あきたの美術展などの展示現場も体験。

今後の取り組み

- ①展示コンセプト、構成の立案
- ②トータルデザインについて
- ③アーカイブに向けたテキスト執筆 など

アートサポーター部門

今年度の実務体験（登録5名）

- ①展示会場での受け付け、案内業務。
- ②展示作業の手伝い（自主参加）

※若手アーティスト支援事業だけでなく、あきたの美術展などの展示現場も体験。

今後の取り組み

- ①アーティストへの支援について必要なものは何か考える
- ②会場内の事故防止に努める
- ③よりよいイベントを開催するための研修 など

インターン部門（仮）

秋田県若手アーティスト育成支援事業に興味を持たれた4名の方が活動内容を知るために、実際に展示作業を体験しました。来年度からアシスタント、サポーターとして参加してくれるそうです。心強い協力者を得て、2018年度もより一層、充実した支援内容で臨みたいと思います。



「あきたの美術 2017 展」の準備作業



小山内穂絵展でのライティング作業。

平成 29 年度はこうでした !!

- ①アーティスト部門への応募が昨年度と同じ8名（採用は6名）でした。自分らしさを追究した展覧会、イベントの開催に意欲的な方々が集まってきました。

お手伝いするアシスタント、サポーター、文化振興課課員にもそれは伝わってきます。毎回、真剣勝負。いろんなことを学びながら、新しいことに取り組んできました。

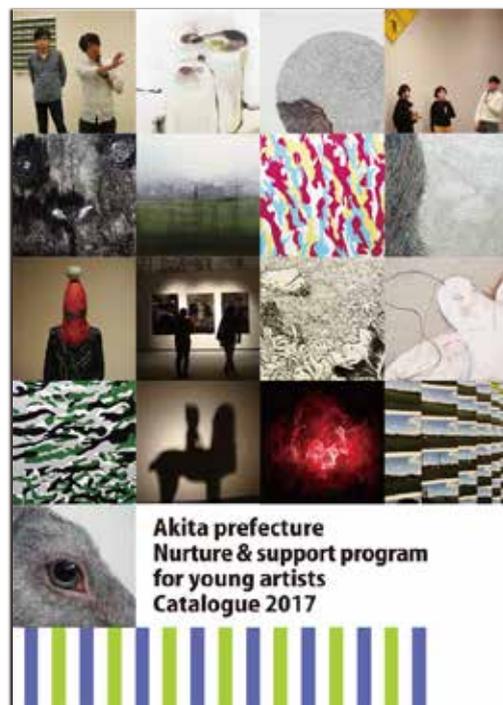
内容は絵画を中心に展覧会を開催しました。今年度も開催後、アーティストに仕事のオファーがあったりうれしい報告が入っています。

ますますの活躍を期待します。

- ②27年度からアートイベントのディレクター・キュレーター志望者を募集して、アーティストだけでなく、イベントを創る人材の養成も目指してきました。27年度は2名、28年度は5名、今年度は6名となりました。継続的な活動をしていただいています。

また、アートサポーター部門のサポーターにはイベント会期中のお手伝いをさせていただきました。5名と少ないですが少数精鋭、とにかくアートが好きという方々ばかりで楽しく活動しています。これからの展開が非常に楽しみです。アシスタントと力を合わせて活躍しています。

- ③平成23年度から始まった若手アーティスト育成支援事業ですが、これまでの事業を総括するアーカイブ、冊子資料がありませんでしたので、簡便な報告書を昨年度から制作しています。「秋田県若手アーティスト育成支援事業 カタログ」です。今年度版は最終展「小山内穂絵展 室内から」で希望者に配布いたしました。



秋田県若手アーティスト育成支援事業カタログ 2017 表紙

〈秋田県若手アーティスト支援事業のお問い合わせ〉

秋田県観光文化スポーツ部文化振興課 〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1

(秋田県庁第二庁舎 6F) Tel.018-860-1530 Fax.018-860-3880

E-mail : bunka@mail2.pref.akita.jp まで